ISO事務局は見た! 社内改善の舞台裏

私はISO事務局を担当している石田裕一と申します。今回はスタッフ部門の立場から社内改善について2つの事例をご紹介させて頂きます。

総務部
石田裕一

テレマティクス導入による車両事故の軽減

●多発する車両事故に手立てなし

数年前、車両事故が多発した時期がありました。保険会社から「保険を使うと次回の保険料が高額になるので、保険使用をご検討することを勧めます」と言われる程でした。原因も分からず、ただ"安全運転"を訴えることしかできませんでした。

●テレマティクスの導入

困っていた時に車両リース会社からテレマティクス（GPSからのデータを蓄積し稼働履歴が閲覧できるサービス）の利用を提案頂きました。社長にも承諾を頂き導入の運びとなりました。まずは、①毎月の運転ランキングを全社員に発表②自分の運転の振返り（運転のクセを理解）③危険運転検知時のメール通知を行いました。導入当初は、「監視されているようで不愉快」「事故回避の急ブレーキが危険運転とされ腑に落ちない」といった批判もありましたが次第に受け入れられていきました。

●事故ゼロと今後の課題

導入して１年を過ぎた頃、事故が発生していない事に気付きました。結果に伴い保険料も下がりました。事故が減った要因ははっきりとは分かりませんが、スピードの出し過ぎには注意するようになったとの意見を頂きました。

今後はデータを使った危険予測などができればと考えております。また、リース会社、ETCカード、テレマティクスの契約が混在しており、事務作業の簡素化ができればと考えています。

資格の見える化

●社員の保有している資格がわからない？

社長から社員の保有資格や研修の受講歴を一覧で確認したいとの要望がありました。これらは担当毎に管理されていたものの、一元的には管理されていない状態でした。また同時期にISOの外部監査でも力量評価について軽微な指摘がありました。そこでISOでの力量評価の項目を修正し、資格と受講歴を含めた形にする計画を立てました。

●現状調査と仕組みづくり

まずは対象とする資格や受講の範囲を決める必要がありました。資格については社長からのアドバイスを参考に主要メーカー資格と公的資格の一部を対象とし、受講については有償のものを範囲としました。また個別に管理されていた記録を集め最新の状態にしました。意外と苦労したのがメーカー資格の理解です。全体像を把握したつもりで作業を進めていったのですが、社内の呼称とメーカーの正式名称が異なっていたり、新しい名称に変わっていたり、認識不足で分類を誤ったりと何度も戻り作業が発生し時間を取られました。

●2つの表で管理

最終的に2つの表を作成しました。資格については「資格マトリクス表」です。縦軸に社員名、横軸に資格名を配置し取得資格の全体像を把握できます。横に拡がりすぎないように資格のレベル（初級、上級等）を記号で表現しました。受講履歴については「履歴一覧表」です。一行の中に社員名と資格受験や受講名を記録追加していきます。

現在は当資料を参考にしながら教育計画と実施を進めております。お客様への有益な提案の一助となればと期待しております。

今後も社内への取り組みを通じてより良い企業になるよう尽力していきます。よろしくお願い申し上げます。